

令和6年2月14日

保護者の皆様

仙台市立宮城野小学校

校長 高橋 美和

令和5年度 学校評価アンケートの結果について

向春の候、保護者の皆様、地域の皆様には、日頃から本校の教育活動に対しまして、ご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、12月に実施した学校評価について、結果がまとまりましたので、ご報告いたします。保護者や地域の皆様には、ご多用の中、調査にご協力をいただきましたことに、厚く御礼申し上げます。

現在、アンケート結果をもとに、学校運営協議会や校内で次年度に向けて話し合いを重ねております。引き続き、子供たちの安心・安全を守りながら、心身ともに健全な子供たちを育てていけるよう指導してまいります。保護者や地域の皆様の学校教育へのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

・実施日 令和5年12月12日（火）～12月21日（木）

・対象者 仙台市立宮城野小学校

児童（445名）・保護者（347名）・学校運営協議会委員（11名）・教職員（25名）

協働型学校評価重点目標

○基本的な生活習慣を身に付ける。

早寝・早起き・朝ご飯、挨拶、言葉遣い

・目標達成率80%以上を目指す



○安全に気を付けて行動する。

交通安全、災害安全に対して正しい知識を持ち、必要な態度や行動を理解し、もしもの時に、自分で判断し行動できる。

・交通事故0を目指す

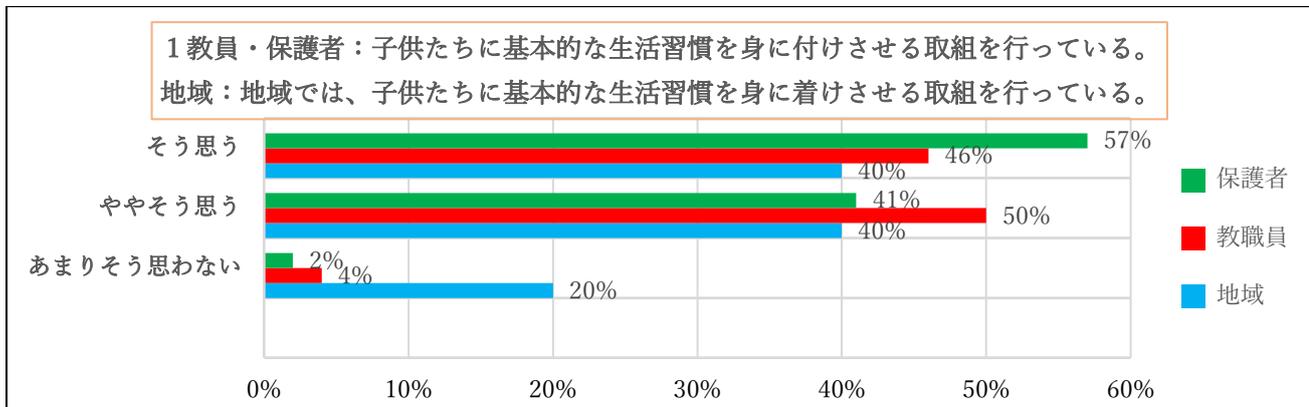
上記の到達状況を、児童、保護者、教職員、学校運営協議会委員へのアンケートにより把握し、今後の教育目標や取組に反映していけるように、結果をまとめました。

令和5年度 学校評価アンケート結果の考察

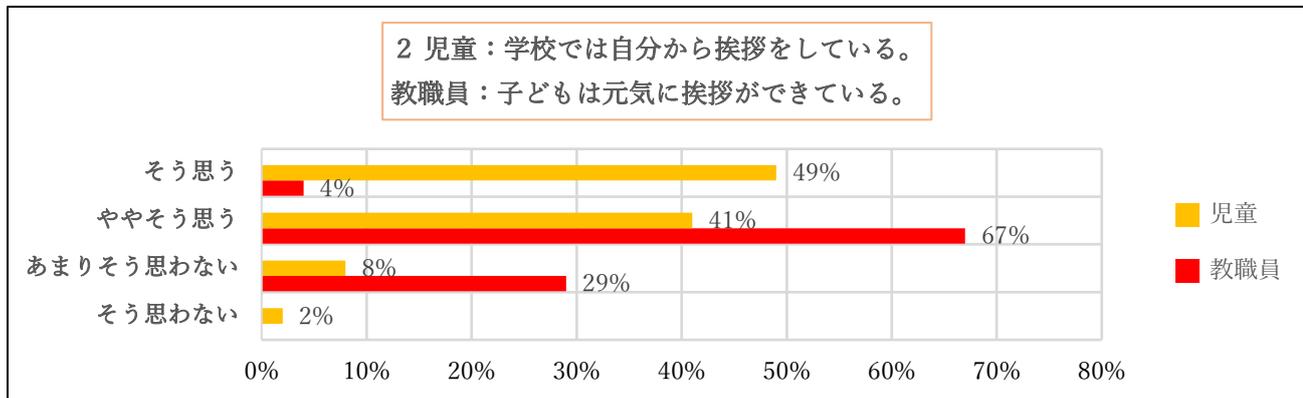
仙台市立宮城野小学校

1 結果

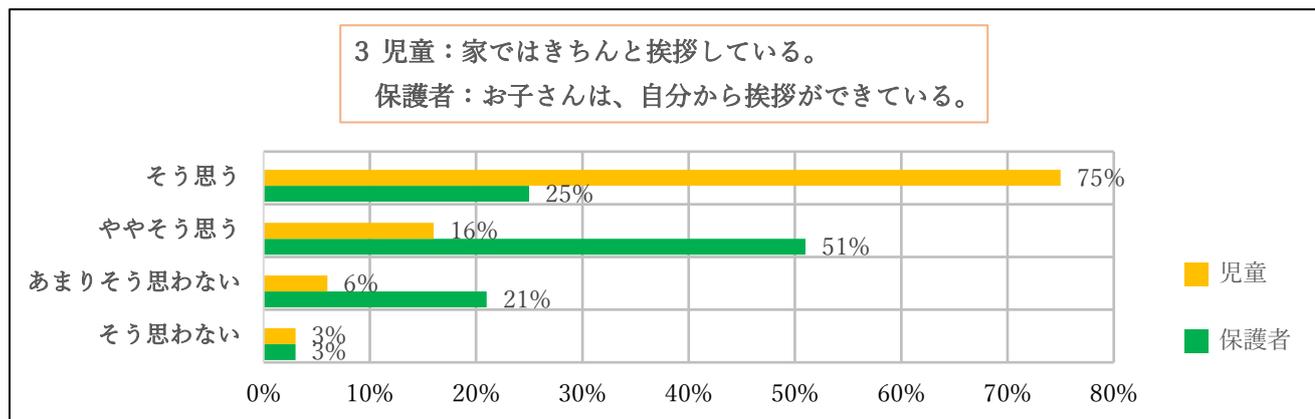
(1) アンケート項目の回答



「そう思う」「ややそう思う」を合わせた肯定的評価は、保護者で98%、教職員で96%でした。地域では、「あまりそう思わない」と回答した割合が20%でした。

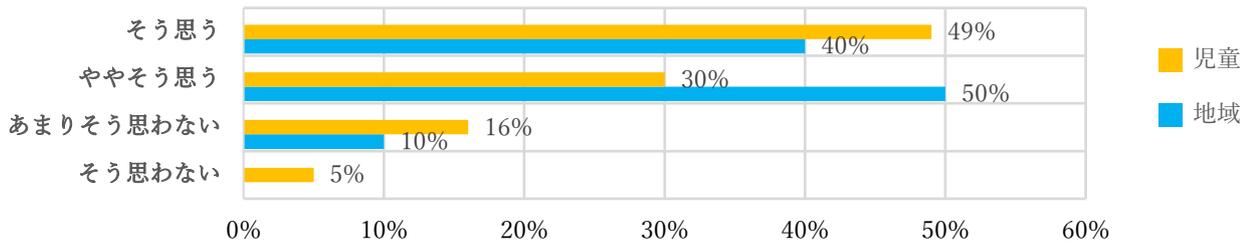


90%の児童が「そう思う」「ややそう思う」と回答しました。一方、教職員は、「ややそう思う」と「あまりそう思わない」を合わせると、96%でした。



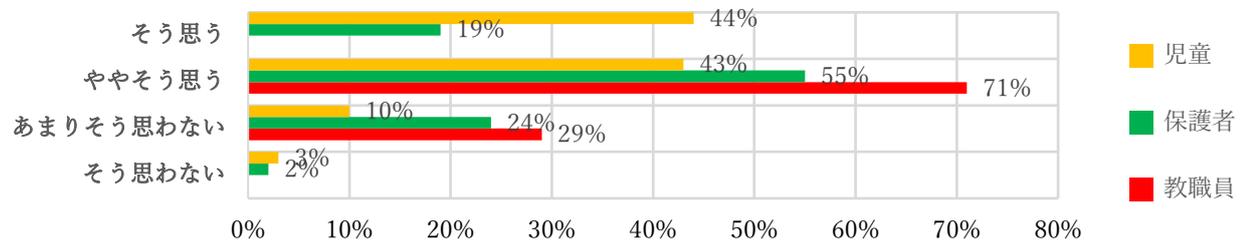
91%の児童が家庭で挨拶していると回答しました。それに対して、保護者は76%が挨拶している、21%があまり挨拶していないと回答しました。2のアンケートと同じで、児童と大人では認識に差がありました。

4 児童：近所や通学路では、きちんと挨拶をしている。
 地域：子供たちは、自分から挨拶をしている。



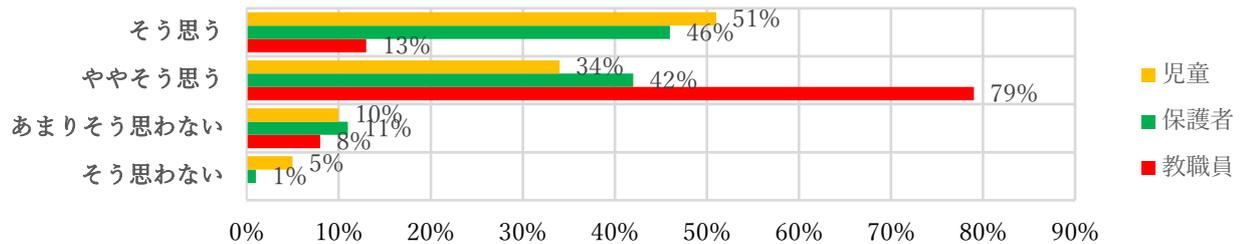
学校や家庭内と比べると、近所や通学路では挨拶をしないと答えた児童の割合が増えています。よく知っている人以外には進んで挨拶していない様子が伺えます。

5 児童：言葉遣いに気を付けて生活している。
 保護者・教職員：子供たちは、言葉遣いに気を付けて生活している。



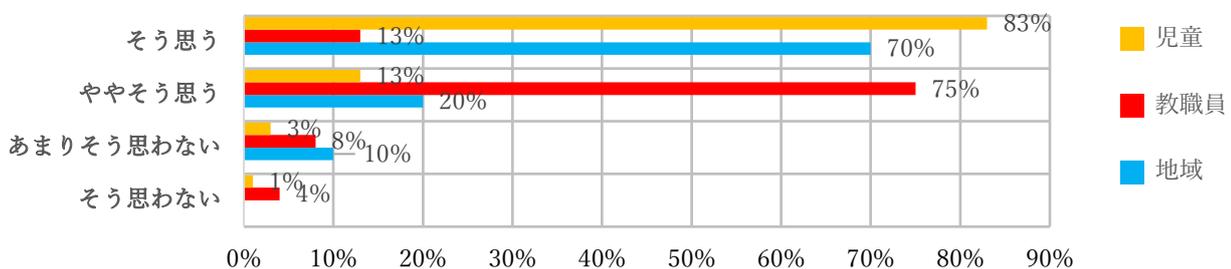
86%の児童が「そう思う」「ややそう思う」と回答しました。一方、教職員は、「ややそう思う」と「あまりそう思わない」を合わせると、100%でした。

6 児童：早寝・早起きを心掛け、朝ご飯もきちんと食べている。
 保護者：早寝・早起き・朝ご飯を心掛け、取り組んでいる。
 教職員：子どもは、早寝・早起き・朝ご飯ができています。

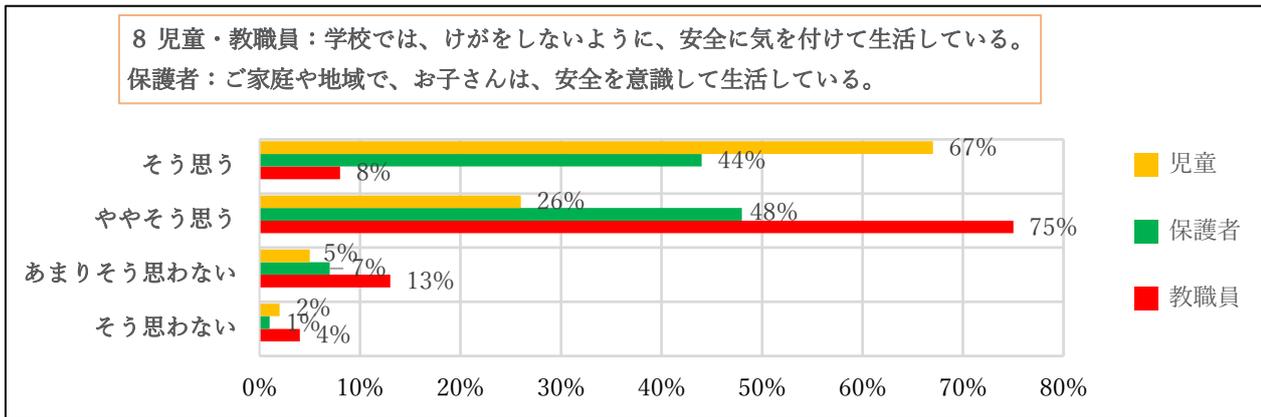


「そう思う」「ややそう思う」と回答した割合は、児童が85%、保護者が86%、教職員が92%でした。「あまりそう思わない」が児童が10%、保護者が11%と、やや多い回答でした。

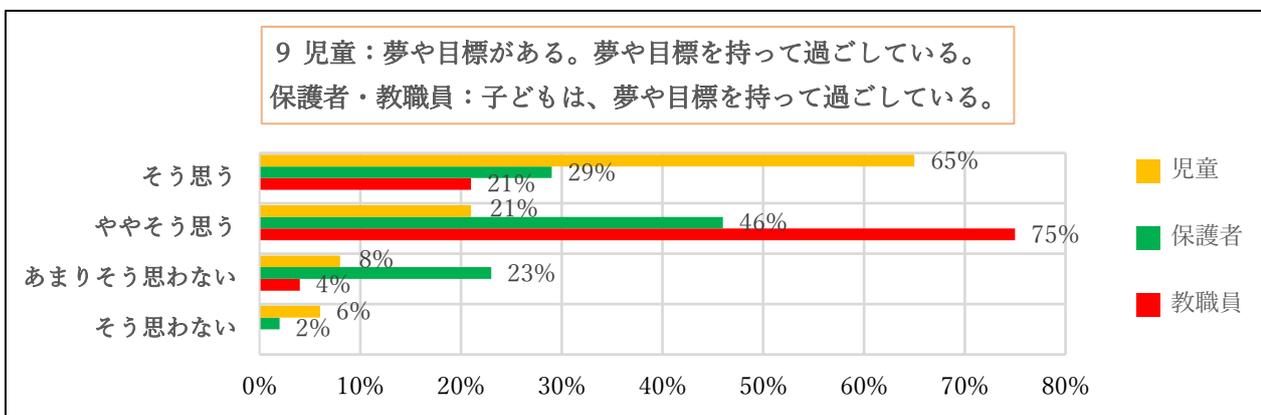
7 児童：交通事故にあわないように、ルールを守り生活している。
 教職員・地域：子どもは、交通ルールやマナーを意識して生活している。



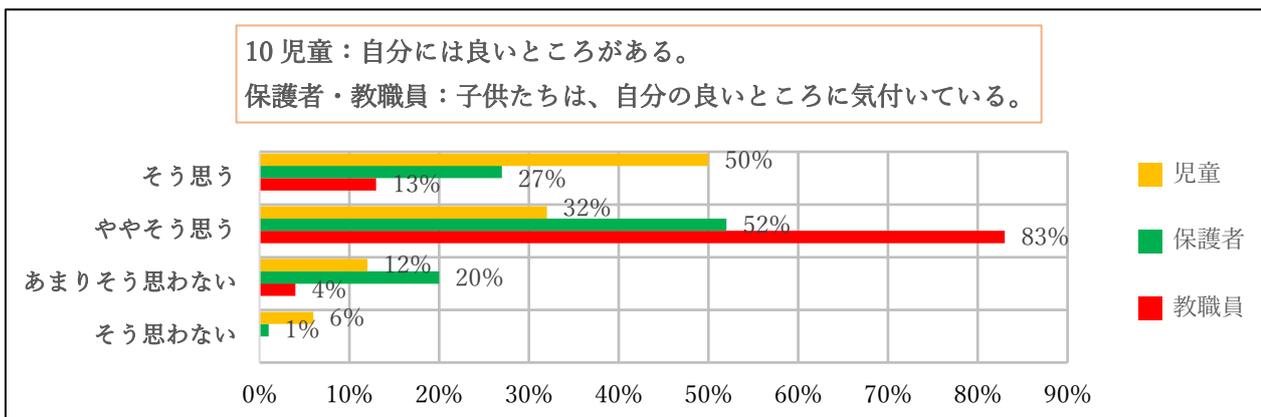
「そう思う」「ややそう思う」と回答した割合は、児童が96%、教職員が88%、地域が90%でした。「あまりそう思わない」「そう思わない」が教職員が8%、地域が10%と、やや多い回答でした。



「そう思う」「ややそう思う」と回答した割合は、児童が93%、保護者が92%、でした。「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答した割合が多かったのは教職員で、17%でした。



「そう思う」「ややそう思う」と回答した割合は、児童が86%、保護者が75%、教職員が96%でした。「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答した割合が多かったのは保護者で、25%でした。



「そう思う」「ややそう思う」と回答した割合は、児童が82%、保護者が79%、教職員が96%でした。「あまりそう思わない」と回答した割合が多かったのは保護者で、20%でした。

(2) まとめ

◇基本的な生活習慣を身に付ける

挨拶や言葉遣いなどの生活習慣を子供たちに身に付けさせていくことの大切さは、保護者、教職員ともに重要視していることが分かりました。

挨拶については、学校でも家でも自分から挨拶をしていると回答した子供は、9割を超えました。挨拶を行う場面や相手は多岐に渡りますが、その都度、自ら挨拶を行っている様子が伺えます。保護者、教職員は、子供が自分から挨拶をしていると回答したのは7割台でした。大人と子供では認識に差がありました。場に応じた挨拶やマスク越しでも相手に伝わる挨拶の仕方などを指導、支援していく必要性を感じました。

言葉遣いについては、約9割の子供が気を付けていると回答しました。子供の言葉遣いについて、気を付けていると回答した保護者、教職員はともに約7割でした。子供は、教育活動中の自分の発言を中心に回答していると思われるが、大人は生活全般を見ての回答をしていると思われる。場に応じた相応しい言葉遣い、友達同士の中でも相手を傷付けない言葉選び等を、今後も粘り強く教えていく必要があります。

早寝・早起き・朝ご飯については、児童自身の約8割、保護者、教職員の約9割がその取組をよく評価していました。しかし、SNSが生活のあらゆる場面で利活用されている今日では、時間の管理等が困難になってきているように感じます。子供たちの心身の成長に欠かせない「早寝・早起き・朝ご飯」を常に意識して生活することを継続していく必要があります。

今後も、保護者・地域・学校が連携を深め、児童の健やかな成長のためにご協力をお願いいたします。

◇安全に気を付けて行動する。

子供・保護者・地域の回答から、子供たちの交通ルールの遵守やマナーに対する理解・意識の高さが伺えました。今年度は、命に関わるような交通事故もなく、事故0が達成されようとしています。これも、地域の方々や保護者の見守り、声掛けが大きく関わっております。朝や放課後、車両の通りの多い場所や、横断歩道に立って子供たちを見守っていただきました。関係の皆様、心より感謝申し上げます。学校内では、年間を通して、廊下や階段の疾走に起因するけが、校庭で遊んでいるときのけがが見受けられました。自分だけでなく友達も傷つくことがあるので、安全教育にさらに力を注いで参ります。また、災害や犯罪はいつ発生するか分かりません。防災・防犯教育の充実に努めて参りますので、今後も、地域の見守り・防犯ボランティア等のご協力をよろしくお願いいたします。

最後に、アンケートへのご協力に対し、改めまして心から御礼申し上げますとともに、来年度も本校の教育活動に対し、ご支援とご協力をよろしくお願いいたします。